



地域がわかる・学ぶ・楽しむ

城山エコミュージアムのつどい

“まちまるごと博物館”城山エコミュージアム委員会の活動紹介と、皆様と一緒に学び楽しむ「講演会」を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和4年2月13日（日）13時30分～16時（受付：13時～）
会場：城山公民館・大会議室（緑区久保沢2-26-1）
内容：①活動紹介 ②事例紹介「新・城山公民館周辺の史跡をめぐる」ガイドツアー ③講演「横浜水道と城山地域」

講師 乾 照夫氏（元・東京情報大学教授）

定員：40名（申込先着順）

申込方法：令和4年2月1日（火）午前9時～

城山公民館窓口または電話でお申し込みください。

※月曜および祝日の翌日を除いた午前9時～午後5時

主催：城山公民館 主管：城山エコミュージアム委員会

問合せ：城山公民館 TEL 042-783-8194

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては事業を中止する場合があります。

参加費
無料

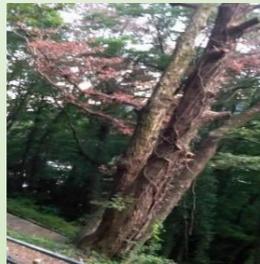


城山検定

解説

<答え>「ナラ枯れ」

ナラ枯れは、コナラやミズナラなどブナ科の広葉樹の葉が夏の終わり頃、急に萎れて枯れることからブナ科樹木萎凋（いちょう）病とも呼ばれます。枯れた木の幹には2mmほどの小さな穴が沢山あいており、根元には多くの木くず（フラス）が出て積もっています。



コナラ



木くず

この穴の中には養菌性のカシノナガキクイムシ（カシナガ）が息しており、カシナガによって持ち込まれたナラ菌（カビの一種）が内部にひろがり、道管が目詰まりし、水の導通が出来なくなりやがて立ち枯れとなります。

被害が大きくなった要因としてコナラなどの雑木林は昔は薪や炭などに使うため伐採が行われ、そのつど萌芽更新されて来ましたが、今ではその需要がなくなり放置され、年輪を重ね太く大きくなってしまったことが指摘されます。こうした大径木は、カシナガの繁殖に適した場所となり、多くの虫に搾入される標的になってしまったようです。この城山地域でも、昨年の夏頃から急激に目立つようになりました。大切な里山を守るためにも早急な対策が望まれます。（塩谷 弘道）

出典：「地域の森林をみんなで守ろう」
神奈川県森林協会発行 2020.3
「神奈川の森林・林業」2017. No.399
林野庁ホームページ

企画/作成：

相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

発行：相模原市立城山公民館
TEL：042-783-8194【直通】
FAX：042-783-1721



ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索

相模原市立城山公民館ホームページ <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/index.html>

城山エコミュージアム通信

令和4年（2022）1月15日 第41号

エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。



城山地域の横浜水道施設

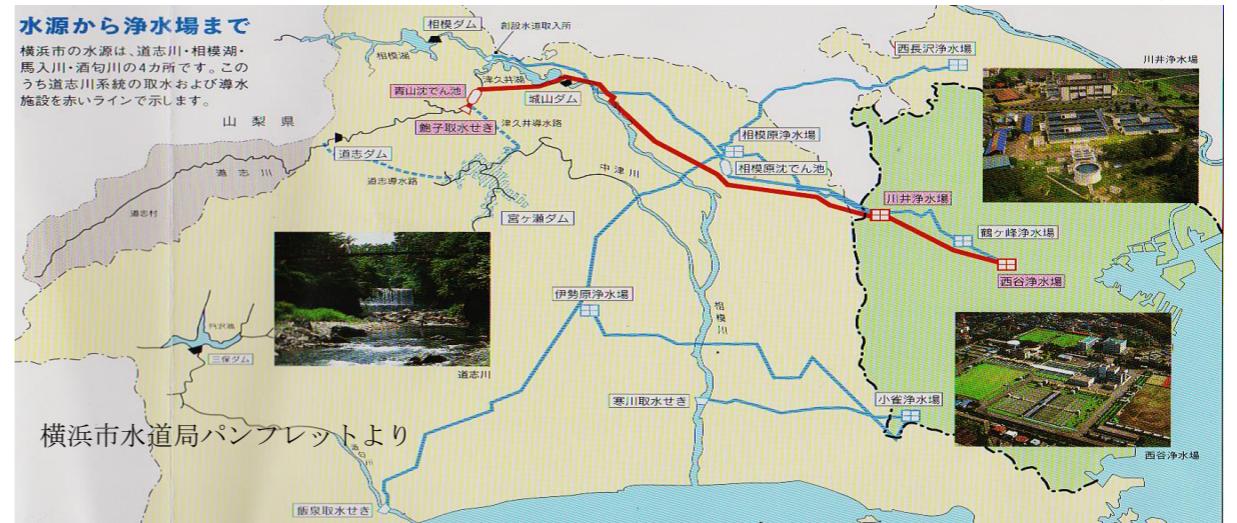
1 横浜水道の創設

安政6年(1859)に港が開かれてから急に人口増加した横浜は水不足になりました。そのうえ横浜は海や沼を埋め立てて町がつけられたので、井戸をほっても塩からくて飲む水には使えません。そこで人々は、水売りから水を買ったり、木の樋(とい)を使った水道を作ったりしました。

その頃、イギリス陸軍の工兵中佐で、水道工事に詳しいヘンリー・スペンサー・パーマーが日本にきていたので、横浜の水道の設計を依頼しました。パーマーは、水源をいろいろ調べたのち道志川と相模川が合流するところを選び、2年半の年月をかけて明治20年に日本ではじめての近代水道を完成させました。この水道はろ過した水を鉄管で送るという、今と同じように使うことのできる水道施設です。それから100年あまりの間に、地震や戦争によって水道の施設が大きな被害を受けましたが、改修したり拡張工事をしてきました。

2 大正初年の大拡張工事

城山地域は横浜水道の通路で重要な施設があります。都市や工業の発展とともに水道の需要も増加したので、拡張工事は昭和55年(1980)までに8回行われました。大正4年(1915)に完了した2回目の工事は大工事で、取水口を道志川の鮑子(あびこ)とし、一日17万トン余を取水して自然流下の水道となっています。隧道(ずいどう)が3か所、城山隧道・太井隧道・川尻隧道と城山水道管橋などができました。この時の工区が「三工区」で、以後地名となりました。当時では日本一長い城山隧道(4,356m)を通り抜けて相模川を水道管橋(長さ約55m)で横断し、川を渡った水は左岸の川尻隧道(488m・城山高校の下)に入りました。現在は道志川の取水に加えて相模川総合開発事業により相模川からも取水され、神奈川県を約43km縦断して横浜市民の生活を支えています。（下図参照）



旧川尻隧道
圏央道橋近く



城山ダムを渡る水道管

参考資料「青山沈殿池」その他
100周年記念資料
(樋口 孝治)



今回の
トピック

■特集「城山地域の横浜水道施設」 ■ツアーの報告 ■しろやまミニ図鑑「コオニヤンマ」 ■城山検定 ■活動報告 ■インフォメーション「つどいのお知らせ」



編集後記

10月に行ったツアーは新公民館になってから最初の事業となりました。今回の通信で報告できて嬉しく思います。

コロナ禍は疫病と戦ってきた歴史を考える機会にもなりました。横浜水道は清潔な水を得るための重要な事業で、当時蔓延していたコレラの罹患が激減しました。今も清潔な水を送り続けています。改めて当時の人々の努力を思いました。（田畑 房枝）

城山エコミュージアムツアー報告

令和3年度 城山エコミュージアムツアー（半日コース） 新・城山公民館周辺の史跡をめぐる 令和3年10月3日（日） 午前9時～12時

*昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止になりました。今年度は緊急事態宣言の解除を受けて感染対策を徹底してツアーを実施しました。

<コース紹介>

③春林横穴墓群



古墳時代～奈良時代にかけて造られた横穴墓群

②川尻八幡宮



①スタート
城山公民館
苦久保遺跡

④桂昌寺跡



明治39年（1906）の火災により焼失

⑤榛名神社



こうひょう
降雷除けの祈願

⑥谷ヶ原浄水場・配水池



浄水は配水池から各家庭や工場に送られる
ここから久保沢方面や温泉坂が眺められる

⑦大正寺



桂昌寺から移築された百体地蔵



水難者の霊を慰めたと
いわれる岩船地蔵

(金子 直美)



平安時代なかばの住居跡が発掘された

⑨ゴール
久保沢観音堂



「百体観音」が一基も欠けることなく現存している

⑧かんば坂



「釜場」があったなど諸説ある

しろやまミニ図鑑



コオニヤンマ (サナエトンボ科) (成虫オス腹長55～66mm)

城山地域を流れる境川とその支流で夏に見られるトンボにコオニヤンマがいます。オニヤンマに似た姿ですが、少し小型で何かに止まる時に水平に止まるので、ぶら下がるように止まるオニヤンマとは違うことが分かります。よく見るとオニヤンマの目と目が接しているのに対してこの種は少し離れています。これはサナエトンボ科の特徴です。

幼虫は腹部が横幅に比べて薄く木の葉のような感じで、触角がシャモジのような形に見えます。河川の上流から中流にかけてツルヨシなどが生える砂泥～砂礫（されき）質の場所に生息しています。幼虫期間は2年以上で幼虫で越冬します。冬はツルヨシなどの岸の草の根拠にじっとしていることが多いので、観察しやすい季節です。

(出典：日本産幼虫図鑑 (株) 学研教育出版)

(田畑 房枝)

活動レポート

※もみじ学級 ガイド 11月24日(水)

城山公民館主催のもみじ学級（高齢者学級）で公民館周辺の歴史散歩の企画があり、ガイドとして委員会メンバーが参加しました。当日は天気にも恵まれ、苦久保遺跡、春林横穴墓、桂昌寺跡、川尻八幡宮などをめぐりました。

※学習会開催（学習会は、会員の興味を持っていることを研究し発表する場です）

・8月4日（水）テーマ：相州津久井之内河尻之郷御地詰水帳 担当：山口 清
長く行方が分からずにいた掲題の水帳（慶長8年（1603））が相模原市立博物館に保管されたことが分かりました。これをもとに、城山地域の近世初期の状況や現在も残る地名（小野、西戸、下馬梅）などを発表しました。

・10月6日（水）テーマ：小倉山について（相模原市緑区） 担当：森久保 新一
現在、山頂も含め小倉山は砂利採取のため大きく変化している山です。かつてはギフチョウが舞うところだったこと、また、手つかずの照葉樹林帯があり貴重な場所であることや、実際に歩いて調査したことなどを発表しました。

・11月10日（水）テーマ：庭の薬草について 担当：金子 直美
岩船地蔵について追記
自宅の庭で観察、採集した薬草について、実際にカキやザクロ、ドクダミなど生薬を作ったり効能などを調べたものを発表しました。もう1点、エコミュージアムツアーの時には不明だった岩船地蔵について、調べなおしたところを説明しました。

・12月1日（水）テーマ：郡制度について 担当：柳井 正晴

古くは大正令に始まる郡制度は市町村の合併などの変遷を経て形骸化しているとはいえ、現在まで古代の名称、区分を引き継いで使用している。まさに世界文化遺産級。2007年に津久井郡が廃止になったのは残念だとの説明がありました。

学習会の予定

- 1/12津久井城ゆかりの功雲寺
 - 2/02 ナラ、マツ枯れ
 - 3/03 桜あれこれ（文様）
- *テーマ・予定日・時間(9:00～9:40)は変更になる場合があります。公民館にお問合せ下さい。

城山検定

問題

昨年の7～8月ごろ、小松の里山などで多くのコナラの木が赤茶色に変身していました。遠望すると、早くも紅葉かと勘違いしそうですが、まだ少し早すぎますよね。
では、これは一体何が起こったのでしょうか？



<小松の里山・2021.8.>